

みなみかぜ

No. 600 2026.3.1

編集 -黒石・厚南・西宇部人権学習会-
みなみかぜの集い
発行 宇部市隣保館厚南会館

今回は、厚南中学校における「人権教育の取組」の概要を掲載します。

厚南中学校における人権教育の取組

本校は、学校教育目標として「心豊かで、自ら学び、夢に向かってたくましく生き抜く子どもの育成」を掲げ、それを踏まえて、本年度の人権教育の努力点を「社会を見つめ、自分の考えを表現する活動を通して育む人権意識」としています。具体的には以下の4点を挙げています。

- ① 着任者に対する研修の実施
- ② 人権教育参観日等授業の充実
- ③ 人権講演会の企画運営の充実
- ④ 人権に関する意見発表の企画運営の充実

これらの努力点を実現するために、次のような取組を行ってきました。

(1) 教職員の研修

着任者に対して春休みに、本校の人権教育の取組の説明を行いました。夏休みには、多くの教職員が宇部市小・中学校人権教育研究集会に参加しました。講師は、アイヌ民族文化財団アドバイザー 藤戸ひろ子様で、演題は『アイヌ民族の文化、歴史、願い』でした。また、地域の人権学習会（みなみかぜの集い）に、全教職員が年1回以上参加することを呼びかけ、4月にそれぞれが参加予定日を決めました。

(2) 人権教育参観日

7月3日(木)に人権教育参観日を行いました。1年生では「教科書無償化運動」、2年生では「ユニバーサルデザイン」、3年生では「統一応募用紙」をテーマとした授業を行いました。生徒たちはそれぞれのテーマについて真剣に考え、グループ協議をしたり、全体に自分の意見を発表したりしました。また、保護者や地域の方々にも授業を参観していただきました。

(3) 人権を考える日

本校では人権感覚を磨き、人権意識の向上を図ることをめざし、厚南中学校「人権を考える日」を設定しています。12月16日(火)に代表生徒4名による人権意見発表と、元下関市教育長 児玉典彦先生による講演『生きる喜び』を実施しま



厚南中学校マスコットキャラクター
『なんぽちゃん』

した。

意見発表は、テーマも多岐にわたり、人権に対する多様な視点や思いが伝わる素晴らしい内容でした。

そして講演会。講師の児玉先生のお話は大変分かりやすく、身近な人権について、心で感じ、考える貴重な機会となりました。「縁」と「絆」が今の自分をつくっていること、「大切な誰かの存在」が、自分が困難を乗り越えるきっかけになること、大きな原動力を得て、自身の挑戦や成長、生きる喜びにつながることを学ぶことができました。



今後も日々の学校生活の中で学校教育目標、人権教育の努力点の実現をめざして、さまざまな試みを取り入れながら、生徒たちそして私たち教職員の人権感覚を磨いていきたいと思えます。

〔宇部市立厚南中学校 本城 靖子〕

3月 は、「自殺対策強化月間」です。



相談窓口はこちら 

まもろうよこころ

検索



【巡回職業相談 ～就職活動に関する個別相談～】 (申込必要〈随時〉、無料)

- 申込 [☎31-0164](tel:31-0164) (部門コード 44#) ハローワーク宇部 専門援助部門
- 会場 隣保館厚南会館
- 日時 申込時に設定された日時にお越しください。

【みなみかぜの集い】(黒石・厚南・西宇部人権学習会) 〈申込不要、無料〉

- 日時 令和8年3月11日(水) 18:30～19:30
- 会場 隣保館厚南会館 2階 大会議室
- 内容 「人権教育啓発ビデオ視聴」
「各地区人権教育推進委員協議会の活動報告」
- お問合せ 隣保館厚南会館 [☎41-8155](tel:41-8155) FAX41-8308

E-mail:konankaikan@city.ube.yamaguchi.jp